

5月も半ばを過ぎ

梅雨の走りのような

天気も増えてまいりました。



不足する半導体について

世界的な半導体不足が起きている今、あらゆる産業が間接的な影響を受けています。なぜこのような事態になっているのかを今一度考えてみましょう。

半導体はマイクロチップとも呼ばれ、電子機器の頭脳として機能しており、スマートフォンや車、ゲームやオーディオなどの、電源、電池によって動くものには全て半導体が使われております。チップの大きさはさまざまですが、その中には何十億ものトランジスタが内蔵されています。日々進歩する技術に沿って半導体の必要数も多くなると予想されます。記憶に新しいコロナウイルスによる世界的なパンデミックが始まった頃、リモートライフへの移行が急速に進み、チップの需要が増える結果となりました。このような需要の変化は家電業界から始まったとされています。遠隔地で学習したり、仕事をしたり交流したりするのに膨大な量が必要とされました。その後の景気回復に伴い、自動車や家電製品などの耐久消費財の需要が増加し、消費者の需要が増えた結果、生産の継続に不可欠な半導体の需要も異常に増加したとされています。

多くの半導体製造施設では、最先端のチップを生産するために生産ラインをシフトしていたため、自動車や家電製品に使われるシンプルなチップの需要にすぐ対応できていなかった様です。製造施設のおよそ9割がアジア圏に密集していた事も流通にダメージを与えたとされています。

専門家の意見では2024年までこの状況が続く見通しだと言われています。半導体不足を解消する為の生産体制の拡大計画が、半導体が足りないために難航している現状です。先の見えない不安が続きますが、長期的な視点で考え、この大きな需要を各業界の成長への兆しと捉え、今後も世界の動きに注目していくほかは無いかと考えます。

製品紹介

今回はコンベア送り式裁断装置をご紹介します。

厚手のフィルター素材を定寸カットする為に設計しました。手動移動式全長センサー（カラー認証）による自動測長機能で、任意の全長で正確に判断する事ができ次の工程にスムーズに移ることが可能です。ローラーではなくコンベアで生地を送り出すことで弾力性や伸縮性のある生地でもしっかりと精度を出す事ができます。内蔵している強力型カッターユニットは往復裁断なので作業効率も上がります。



Youtubeにて製品の紹介動画も御用意しておりますので是非一度ご覧になってください。

サ プ リ ナ 株 式 会 社
ニュースレター担当者:長田 昂祐
TEL:0725-22-4801
FAX:0725-23-3486

<http://www.suprena.co.jp>

ニュースレターの配信がご不要の方は配信を止めさせて頂きまますので
お手数ですが、上記欄にFAX番号を記入の上ご返信して下さい。

宛名に覚えの無い方も配信を停止しますのでFAX番号を記入してご返信下さい。

お名前だけですと停止手続きができない場合がございますので必ずFAX番号の記入をお願い致します。